

社会福祉法人 一れつ会 行 動 計 画

仕事と家庭の両立支援の更なる充実を図り、職員全員が自らの能力を発揮できるよう雇用環境を整備するため、次のように行動計画を策定する。

《次世代育成支援対策の内容として定めた目標》

1. 計画期間：2026（令和 8）年 4 月 1 日～2031（令和 13）年 3 月 3 1 日 （5 年間）
2. 内容

①目標：職場と家庭の両方において男女がともに貢献できる職場風土づくりに向けた意識啓発や上司を通じた男性労働者の働き方の見直しなど育児参画の促進を行うことで、男性の育児休暇又は育児目的休暇取得者 1 人以上取得を水準とし、男女がともに子育て等をしながら働き続けることを支援する職場風土を目指す。

＜対策＞ 以下内容を期間中、通年実施し、運用につなげる。

2026 年 4 月～ 各事業所における休業者の業務カバー体制の検討・実施

制度の整理を行い、管理職が制度の理解を深め、各事業所において必要な情報が周知される仕組みを作る。

《次世代育成支援対策及び女性の活躍推進に関する取組として定めた目標（共通）》

②目標：男女ともに仕事と家庭の両立が維持しやすい職場環境風土づくりを目指し、計画期間における月毎の 1 人当たりの法定時間外労働及び法定休日労働の合計時間が 10 時間を超える者を年間で延べ 39 名以内とする。

2026 年 4 月～ 1. 分析した 2025 年度実績（2025（令和 7）年度年間延べ 96 名）をもとに、各事業所での課題の抽出を行う。

2. 毎月実施する管理職連絡会等で、管理者が状況報告を行い、情報共有を図る。

3. 業務量の見直し、ICT や DX 化等効率化などの検討を行う。

4. 事業所単位で解決できない課題に対し、法人全体で取り組む。

5. 年度末に分析を行い、状況を確認する。

上記取り組みを、年度単位で繰り返し行い、男女ともに仕事と家庭の両立が維持しやすい職場環境風土づくりを図る。

《次世代育成支援対策の内容として定めた目標》

③目標：子どもが保護者である労働者の働いているところを実際に見ることができる「子ども参観日」の実施。一れつ会の職員の子どもの対象に、保護者の働く姿を見ていただき、保護者との関係作り、仕事への興味、福祉への理解等、様々な相互作用を図る。

＜対策＞ 以下内容を実施に向け進めていく。

2026 年 6 月 職員への呼びかけ（対象児童の参加の有無）

2026 年 8 月 実施 小学生、中学生を対象に実施し、学年に合わせた説明や、子ども同士の交流、等

毎年、実施し、実施後振り返りを行いながら、取り組めます。